

新規採用者・
転入者の皆さん、

ようこそ!

つながり強め、仲間を増やそう

職場では、新規採用者や転入者など新しい仲間を迎え、子どもたちとともに新年度がスタートしています。あたたかい声かけがあふれるような職場づくりをすすめていきましょう。その中で、今年度もつながりを強め、新しい組合・共済・ろうきんの仲間をたくさんむかえ、子ども・保護者・教職員の願いを実現させる運動を前へすすめていきましょう。

スタートダッシュ
ウィーク(4月1日～13日)に声かけ旺盛に

新年度が始まったこの時期は、新規採用者や転入者を含め、教職員一人ひとりに、組合・共済・ろうきんへの加入の声をかけをすすめる絶好のチャンスです。今年度から新たに活用する相談・加入カード(写真・二つ折で名刺サイズ)や昨年度活用した加入リフ改訂版(A5版・黄緑色)な

相談・加入カード



新採者にも都教組の存在を知らせよう
毎年、パワハラを受けたり、病休に入ったり、自主退職を余儀なくされたりする新規採用者や教職員がいます。組合に入ることで身を守るとりくみをすすめるられます。あなたを一人にしない「一人で悩まず組合に入って雇用と身を守ろう、そして一緒に実践を学び支え合おう」と加入の

都教組は3月1日、「気軽にできる!」ひとりでもできる! 楽しい仲間づくりのすめ」をテーマに第2回組合学校を開催しました。憲法でも諸法律でも都教組や支部・地区協、分会の交渉権が保障されていることを踏まえ、具体的場面のロールプレイを見ながら、校長交渉・要請の重要性や具体的方法、また気軽に一人でも楽しくできる職場でのとりくみ等について学びました。その後、職場での集まりの方法や参加のお誘いの仕方等について、具体的に分会から報告してもらい交流しました。参加者からは「ロールプレイがとても良かった。全ての若手教職員に見てもらいたい」「同僚が困っている時に支えられるような存在になりたい」「年度初めは学期末など

どを手渡して、気軽にどこでも何度でも声かけをすすめてみましょう。
組合・共済・ろうきんカフェは一人でも気軽に開くことができます。都教組共済や桜保険事務所がケーキや焼き菓子等、美味しいスイーツを準備して職場を訪問します。ぜひ職場の教職員に声をかけ、組合や共済のことを知らせ、加入をよびかけるきっかけにしてください。申込は随時受け付けています。

職場で支えになる存在になりたい
呼びかけをひろげましょう。



第2回組合学校



発行所
東京都千代田区二番町12-1
エデュカス東京(全国教育文化会館)
東京都教職員組合
電話03(3230)3891

1部120円(郵送料別)
組合員の購読料は組合費に含む

都教組ホームページ

<https://www.tokyouso.jp/>



E-mail

Information

都教組ホームページには情報満載

◆組合員専用サイトは、組合員だけが得られる情報を見やすく活用しやすく掲載しています。
◆組合員はメール登録をすると新着情報のお知らせを受け取ることができます。

の服務研修だけでなく教職員の権利のことをもっと扱ってほしい」などの感想が寄せられました。
とづくしの青年部学習会に、ぜひ青年教職員を誘い、一緒に参加ください。

「新歓JUMP!」に誘い一緒に参加を

都教組青年部は、今年も新採者を歓迎し、青年が学びつなげる場として「新歓JUMP! 2024」を開催します。楽しく学べる、仲間がふえる、元気になる、いいこ

青年部学習会
「新歓JUMP!」
2024
日時 4月27日(土)
14時～16時30分
場所 エデュカス東京7階
*詳細はチラシやホームページをご覧ください。

教育予算を増やして 子どもの権利としての 教育を守ろう

教職員の未配置・長時間過密労働解消を

ここ数年、全国でも都でも教職員の未配置・教員のなり手不足が深刻です。都の選考



三二講演を行う尾林芳匡弁護士

受験者が減り続け、名簿登録者の倍率は小学校全科で1.1倍、全体でも平均が1.6倍です。文科省は給特法の見直しを含め、教員の処遇改善に向けた検討をすすめています。中教審の審議で出されている教職調整額を増やしたり担任手当を新設したりすることは、長時間過密労働をさらに助長し、教職員の分断に繋がりがかねません。国も都も「働き方改革」として、教育DXや民間委託のさらなる推進、小学校高学年の教科担任制の拡充をすすめています。が、実効性のある業務削減や

教職員増、少人数学級の加速・拡大には後ろ向きです。
「全国えがお署名」をひろげよう
一方で政府は5年間で43兆円もの防衛費を拡大しようとしています。それらを教育費へ回し、2025年度文科省の概算要求に小中高全学年の少人数学級や教職員定数改善等の要求を反映させるための要請署名「全国えがお署名」に今年もとりくみます。署名を職場や地域でひろげ、教育条件の拡充、貧困と格差の拡大から子どもたちを守る教育無償化をすすめるための教育予算増額を実現していきましょう。6月中旬までとりくみ7月に提出します。

子ども・住民の声、願いを学校づくりに

3月3日「第13回学校統廃合と小中一貫教育を考える全国交流集会」が、東京農工大学小金井キャンパスで行われ、会場・オンライン併用で270名が参加。全体会では、

第111回都教組定期大会

- 【日時】5月18日(土) 9時30分開会
- 【会場】エデュカス東京7階会議室
- 【議案】
 - 2023年度経過報告案
 - 2023年度決算報告・監査報告
 - 2024年度運動方針案およびスローガン案
 - 2024年度予算案
 - 全教第69回中央委員会中央委員の選出について
 - 都労連第79回定期大会代議員の選出について
 - 東京民研研究員・共同研究者の委嘱について
 - 東京総合教育センター予算案について
 - その他

流れ

桜のつぼみが膨らみ、定点観測している松の雌花の枝がぐっと伸びてきた3月半ば。足元では、

オオイヌフグリ、オドリコソウ、カラスノエンドウが仲良く群れ、ニリンソウも保護区で可憐な姿を見せていた。近所で採れたというノビルをいただき、13年前の原発事故と福島の実家は、倒壊は免れたが放射線の影響を受け続けた。フキノトウやタラの芽、タケノコなどの山菜は採取禁止、極上のシイタケを栽培していた親類は栽培をやめた。何年も福島産の米、野菜は店頭には並びず、数年後、東京で投げ売り同然の桃を見たときは涙が出た。隣の市の有機農業に情熱を注いでいた農家は将来を悲観し命を絶った。帰宅困難地の畜産は放棄され、牛、豚は餓死。やっと開始された漁業は汚染水処理問題で再び窮地に立たされている。廃炉作業は困難を極め見通しは立っていない。それなのに岸田政権は原発回帰をすすめる、その矢先に起きた能登半島地震。避難路がずたずたに寸断され、がれきの除去も困難を極めている。もし珠洲原発が建設されていたら想像を絶する事態に。テレビでは13年前とほとんど変わらない被災地の映像。冷えた切った体育館で難民状態、プライバシーなし。続いて自民党裏金問題、殺傷能力のある武器輸出閣議決定のニュースが。震源は能登半島か。機能不全の永田町ではないのか。(加)